

(様式第4号)

塩田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第10回 塩田地域協議会
2	日時	平成22年1月21日 午後3時50分から午後4時40分まで
3	会場	上田市塩田公民館2階ホール
4	出席者	大口会長、峯村副会長、上沢委員、池田委員、岡村委員、小山委員、佐藤委員、関田委員、武田委員、勅使川原委員、中村委員、平林委員、丸山委員、水無瀬委員、南委員、宮入委員、宮沢委員、若林(陽)委員
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、古川センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人
	記者	0人
8	会議概要作成年月日	平成22年2月1日

協議事項等

1 開 会 (神林自治センター長)

2 あいさつ (大口会長)

新年を迎え今年もよろしくお願ひしたい。1月8日には、別所線電車存続に関する住民アンケートの調査票の発送をすることができた。照会が多いと思うが、確実な回収に向けて自治会への協力依頼をお願ひしたい。

3 協議

(1) 「ため池百選」について (会長)

「ため池百選」の住民投票については、2月8日締め切りとなっているので、委員も本人のほか家族等で数枚投票してもらいたい。

(質疑応答)

(委員) 塩田のため池が「ため池百選」に選定されて何か変わるものか。

(会長) ため池の名称や事業に、冠をつけてPRすることができる。地域振興に結びつくものと理解している。

(2) 塩田地域の観光について

(質疑応答)

(委員) 地元旅行者の話聞いて参考になったが、観光について大学の先生の話聞いてみてはどうか。長野大学の中西先生はどうだろうか。料金はどのようなものか。

(事務局) 市の基準に基づいての支払いとなる。公開での講演会とすれば公民館の事業としてもできる。

(会長) 次期協議会へ申し送りしたい。

(委員) 研修会的に話を聞きたい。

(委員) 旅行者の話は参考となったが、協議会でのまとめは難しい。街灯整備、地産地消、柿の活用など協議会として「観光」に何を求め、どうしたいのか課題は次期協議会の課題としたい。

(委員) 歴史、観光、食、おもてなしの心を大切にして、観光客の質問に答えられるようにした。地域の住民が、親切な対応をすることが必要である。

(委員) 観光バス利用者の昼食場所がないことが問題で、市全体で考えないといけない。観光を、経済効果に結びつけることを考える必要がある。

(委員) 観光には、食事が重要であり別所温泉などでは、食事に塩田や別所温泉らしさがないという意見が多い。例として、鯉料理を食べたくてもないなど需要と供給の関係改善など関係者による連絡協議会が必要である。他には、昔ながらの食生活や風習の復活などの検討をしてみてもどうか。無言館の周辺を明るくしてもらいたい。観光客を無言館へ案内して

喜ばれた経験があり、住民のおもてなしの心がレピーターを作ることにつながっている。

(委員) NHK 大河ドラマなどの宣伝効果はすごいものがあり、イベント情報などは観光業者に伝わっているものか。

(委員) 別所温泉の活用が重要であり、別所温泉魅力創生協議会ではボランティアガイドの要請、地産池消委員会による「地大根」を使用したメイン料理の創作、まちづくり委員会による案内看板の整備など県の補助事業を実施している。

(委員) 辞書によれば「観光」とは、名所旧跡を観てあるくこととされているが、プラスアルファとして「食」、「温泉」など広く観光について協議して塩田の観光に結び付けたいものである。

(会長) 観光におけるおもてなしの心、食事処の確保、イベントの開催や活用、情報発信や他団体との連携など次期の協議会へ回すこととしたい。

4 その他

連絡事項

2月18日(木) 地域協議会 13:30 塩田公民館ホール

3月18日(木) 地域協議会 13:30 塩田公民館ホール

5 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。